



<https://www.hcr.or.jp>

International Home Care & Rehabilitation Exhibition

CONTENTS

New Year H.C.R. 2023	1	7 出展社プレゼンテーション	5
H.C.R. 2022 報告		8 Web展	5
1 オープニングセレモニー	2	9 広報・PR活動	5
2 来場者数・来場者割合	2	10 車いす貸出、臨時バス運行	5
3 出展社数	2	11 来場者アンケート結果	6
4 国際シンポジウム	2・3	12 出展社アンケート結果	7
5 H.C.R.セミナー	3・4	H.C.R. 2023 出展社募集	8
6 H.C.R.特別企画	4・5	次回H.C.R. 2023開催概要	8

編集・発行:



一般財団法人

保健福祉広報協会

HEALTH AND WELFARE INFORMATION ASSOCIATION

住所: 〒100-8980

東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
TEL. 03-3580-3052 FAX. 03-5512-9798



New Year H.C.R. 2023



リアル展 9月27日～29日 東京ビッグサイト東展示ホール / WEB展 8月28日～10月30日

福祉機器の価値を発して50年！クリエイティブな未来を拓く

国際福祉機器展H.C.R.は、1974(昭和49)年の「社会福祉施設の近代化機器展」の第1回から50周年を迎えました。福祉機器は人間の尊厳の理念のもとに、高齢者や障害のある人々の自立と社会参加を支える価値観を有するものです。半世紀のなかで、社会福祉関係諸法の施行と福祉制度・施策の充実発展とともに、福祉機器の開発と普及は画期的に進化し、生活全般や社会環境づくりにおよぶ多様な用途目的と機能の高度化をもたらしました。こうした経過のなかでH.C.R.が情報発信を継続してきたことで福祉機器のイメージを大きく変え、多様な産業分野からの企業参入と市場の成長、さらに国際展示会として福祉機器の国際化にも一定の役割を担ってきたことも事実です。

これまで長きにわたりH.C.R.に出展していただいた国内外の企業・団体の皆様、ならびにH.C.R.の企画運営にご尽力をいただきました関係者の皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。

日本社会は2040年に向けて高齢化と人口減少が進んでいくなかで、介護や高齢者福祉のニーズは一層高まってまいります。また、障害者権利条約のもとに障害のある人々の地域での自立生活や就労、教育、社会参加の促進のための

取り組みや環境改善が必要となっています。そのためには、高齢者や障害のある人々のニーズに即した福祉機器の適切な選択と利用、安全性の確保、さらには福祉・介護サービスを提供する福祉施設・事業所での福祉機器の利用促進による質の向上をはかることがますます重要な課題となっていきます。

H.C.R.は社会環境の変化を見通しつつ、半世紀にわたり蓄積してきた礎のもとに、クリエイティブな未来を拓くため、国内外の多様な福祉機器の実展示会として、さらなる努力を重ねていく所存です。併せて、Web展を充実させ、いつでもどこでも関連情報を得られる環境整備を整えてまいります。

また、50回の節目となるH.C.R. 2023では、地域共生社会のまちづくりや介護・障害福祉分野に関連する施策の最新動向、人生100年時代のヘルスケア情報、国際的観点からみた日本のこれからの福祉課題の提起など、多様なテーマによるフォーラムの開催により、福祉の総合的な情報提供に取り組みます。さらに、未来に拓く50周年ならではの多彩な特別催事を予定しています。

H.C.R. 2023の開催に向け、出展企業・団体をはじめ関係者の皆さまの引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。

私たちがめざすのは、ともに生きる豊かな地域共生社会の実現です

福祉機器が築く未来に期待が高まっています！

コロナ禍によって私たちの生活や社会経済活動に厳しい影響が及んだなか、昨年のH.C.R. 2022は4年ぶりに東京ビッグサイト東展示ホールで開催できました。来場は約9万人、待ちに待ったリアル展示会に、来場者と出展企業の皆様から歓迎の声をお寄せいただきました。また、Web展も約190万ビューに達するなど、福祉機器関連情報へのアクセスが急増しました。

こんにち、高齢者介護施設や障害者(児)施設など福祉施設現場では、慢性的な人材不足が続いています。福祉・介護サービスの質の向上は、サービスを担う職員の質、専門性によることの本質は変わりません。

一方、H.C.R.では、近年、ICT関連機器として見守りセンサーや介護補助ロボットなどケアワーカーの負担軽減と介護の質の向上を図るためのICT化関連福祉機器の展示と開発研究情報の提供が増え、関心が高まっています。ケアワーカーを支える福祉機器を活用することで、利用者の自立した生活の営みを支えることや、さらなる安全性を確保することが可能となります。また、ケアの記録、介護や障害者福祉制度にかかる事務量の拡大にあって、DX化など情報システムの先端技術を活用しての効率化、適切な管理運営における情報化機器の活用にも福祉施設現場からの関心の高さが表れています。いっそうのICT機器の活用やDX化の活用を進めるには、介護現場の意識改革と先駆的なテク

ノロジーの活用を共有していくことが重要な課題です。利用者本位の福祉・介護サービスの質やQOLの向上をはかるため、福祉業界全体として情報関連テクノロジーの活用による環境改善への転換が大いに期待されており、リアル展示会であるH.C.R.の機会に、さらなる情報提供を図ってまいります。

現在、国においていわゆる2040年問題への対応が問われるなかで、持続可能な全世代型社会保障制度の構築の議論がなされています。高齢者が人生100年時代を豊かに生きるために、健康寿命の延伸や自立生活を支える共生社会の実現のための取り組みをすすめるとともに、すべての人が安心して暮らし、住み続けられるまちづくりをすすめることが急務な課題です。

主催の全国社会福祉協議会、保健福祉広報協会においては、SDGsがめざす「誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の理念に即し、全国各地での地域福祉の実践活動などの取り組みをはたらきかけております。H.C.R.フォーラム(H.C.R.主催者による情報発信・提供企画)におきましても、すべての人々が地域のなかで社会参画を果たしながらゆたかに生活できる地域共生社会の実現に向け、地域福祉の実践活動や、福祉・介護はもとより、医療・看護、リハビリ、就労、教育分野などとの連携・協働の取り組みの関連情報を発信し、さらなる豊かな地域社会づくりに努めてまいります。